

初公開！組合事務所 来年もよろしくお願ひします

「一度も組合事務所に行つたことがない」「なんとなくシキイが高くつて・・・」という声を聞きます。組合事務所はみなさんの組合費で運営しています。できるだけ気軽に寄つていただけるよう事務所内半分以上は「対話・相談スペース」にしています。

ここでの対話から、あらたな組合員の紹介や現場の状況など様々な情報が掘り起こされます。特に用事がなくてもお茶飲み立ち寄り大歓迎です。

また、プライバシー保護のため、相談内容によっては二階の会議室を利用します。大型トレーラーでも立ち寄れるよう駐車場も確保しています。どうかお気軽に来てください。

年の瀬を迎えて

栃木県本部執行委員長 山内健人

「組合員のみなさん。今年もお世話になりました。年々組合員の高齢化が進むなかで、組合も新たな対応が求められ

シリアでは多くの市民が国際社会に見殺しにされています。沖縄では米国による「植民地支配」が続いています。南スーダンでは日本人「戦死者」が発生する危険が・・・。みなさんよいお年を・・・。



組合員みんなの事務所です。職員左から山内、今成、石井、正木。

ていることを痛感しています。来年はこれまでの経験に依存することなく、様々な変化に対応できる組合をめざして微力を尽くしてゆきたいと考えています。みなさんよいお年を」。

【事務所年末年始】

12月29日(木)～1月5日(木)まで休業

【自動車保険関係の緊急連絡】

損保ジャパン日本興亜

0120-256-110

関東自動車共済

0120-898-819

全労済 0120-088-924

【組合員紹介】

今成道子さん(書記)

「みなさん長い間お世話になりました」



これは危険！三国橋で組合加入を訴えピラまき(昭和61年)

クバイトじゃないですか！社会保険も入れてくれないし給料も八万！」。どうもすいません。入ったときは東京商事の不払い事件があったところで連日旧事務所会議をしていますが印象に残っています。日航機が群馬に墜落した頃です。」

男ばかりの組合だし若い女性が就職するのは抵抗があったと思うけど。あんまりなかったです。親も反対はしなかったです。つらかったのは「たばこ」。当時は事務所内は禁煙じゃないし、狭い事務所でもみんな遠慮なく吸っていました。」

どうもすいません。当時の事務所は木造ボロアパートで四畳半の部屋に机を三つ置くというありえないレイアウト。トイレは汲み取りでした。」

入った時の組合員数が三〇〇人程度、それがどんどん増えて平成五年頃には千人を突破して最高時一二五〇人を超えました。ほんといろいろな人がいていろんなことがありました。」

しかしお金の管理から保険業務、実務全般をホントよく一人

でやってましたね。パソコンも携帯電話もない状況で。「男の人たちは手伝ってくれないし。夜遅くまで残業やつてもサービス残業だし。」。どうもすいません。」

「毎月の機関紙発送だけで一日かかることもありました。折って入れて貼って・・・」

「その前に封筒の用意が・・・宛名カード・・・」

「アペアドレス！」

「鉄筆で一人づつ住所名前をカードに書いて特殊な機械で刷るんです。ガリ版ですね。」

「すばらしい後任もいるし(正木さん)安心して退職できます。今後ともみなさん組合をよろしくお願ひします。」

療事務の資格をとる準備をしていました。たまたま知人から組合でパート事務を募集しているというところでバイトのつもりで入りました。それまでは事務職の経験はありませんでした。」

「当時の栃木支部は男性の正規職員を募集していたので、私は三カ月限定という話でした。私もそのつもりで医療事務の資格をとって就職活動をしていました。ところがいつまでたっても辞めてくれなくて言ってくれない！」。三カ月が三十年！超ブラッ

「ご本人の退職あいさつ」

「私は昭和六〇年四月にこの組合に事務職として入り、あっという間に三十二年が過ぎました。税金相談会、百台以上のダンブによるダンブデモ、全国交流集会、ダンブキャラバン、ダンブ支部定期大会など数多くの運動に参加してたくさんのお話を学びました。組合員のみなさんにもいつも暖かく接していただき大変お世話になりました。ありがとうございました。」

「医療関係の職場を退職し組合に入ったきっかけは？」

「医療関係の職場を退職し組合に入ったきっかけは？」

「三カ月が三十年！超ブラッ



日本最大のダンブ組合を縁の下から支えていただきました